



技術者継続教育機構創立20周年記念シンポジウム
「新時代の農業農村工学技術者育成に求められる連携のあり方」

1. 日時 2022年8月31日(100分 14時20分～16時)
2. 場所 2022年度大会講演会会場（石川県地場産業振興センター）
本館1階 第7会場

3. 趣旨

農業農村工学会では、技術者教育認定の国際的相互認証を受けた JABEE 認定プログラムの修了生が修習技術者となり、CPD(継続教育)による研鑽を積んで技術士などの資格を取得して指導的な技術者になるとともに、国際的にも APEC エンジニア等として貢献できる技術者育成のキャリアパスを構築している。

しかしながら、JABEE 認定プログラムは、大学の実情により異なるが、大学改革の影響もあり、最多時には 19 プログラムあったものが、現在は 13 プログラムに減少し、JABEE 存続の危機にあるといえる。その原因は、大学運営関係者の理解不足、教員の不足、負担感が増す審査料、修習技術者というメリットの低い評価、審査事務量の多さや文科省の機関認証評価との重複感など様々な課題を抱えていることにある。

その一方で、文部科学省の技術士分科会では、修習技術者のあり方について検討が始まっている。また、土地改良測量設計技術協会では、最近、農業土木技術管理士や農業用ため池保全管理技士の受験に JABEE 認定プログラム（農業工学関連分野に限る）を修了した者であることで優遇措置が講じられているなど JABEE の技術者教育を評価している。

このように、農業農村工学技術者育成のあり方が大きく見直しされ、新たな連携が求められていることから、各機関の関係者が集い、新時代の農業農村工学技術者育成に求められる連携のあり方を広く議論するものである。

4. プログラムの構成

開会の挨拶	農業農村工学会 会長	平松和昭
現状報告	JABEE 理事	大村 仁
JABEE の課題	JABEE 認定プログラム認定審査委員会委員長	凌 祥之
修習技術者のあり方	文部科学省技術士分科会委員	小林厚司
関係団体の支援	土地改良測量設計技術協会 専務理事	本間泰造
行政技術者に望むこと	農村振興局首席農業土木専門官	廣川正英
パネルディスカッション	進行役 農業農村工学会	小泉 健
報告者ほか関係者		
閉会		

当シンポジウムを会場またはオンラインで聴講される方は大会講演会への参加登録が必要です